

令和7年度の業務実績の概要について (公立大学法人青森県立保健大学)

令和7年度においては、「年度計画を上回って実施している」S評価又は「年度計画を十分に実施している」A評価が87項目(100%)であり、全体的な状況としては順調に計画を実施することができたと自己評価している。

大項目	小項目の 自己評価結果	「S」と判断した業務実績の内容
1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置(教育)	S 8 A 34 B 0 計 42	①学生募集の継続と新たな学生募集方策の検討・実施(小項目No.3) 計画に基づき、学生募集の継続と新たな学生募集方策を検討し、実施した。オープンキャンパスの来場者数を維持できたこと、また複数の事業においても参加者から高評価を得ることができた。特に絵本の読み聞かせプロジェクトでは徐々に活動が拡大している点を踏まえ、自己評価をSとした。 ② 本学学部生や保健、医療及び福祉の関連団体等への積極的な広報の推進(小項目No.7) 大学院の入学定員を博士前期課程23人、博士後期課程8人に増員し、学部生や保健、医療及び福祉の関連団体等への広報を積極的に推進し、学内推薦選抜の実施、大学院進学相談などの実施により、ストレートで博士前期課程・後期課程に入学する学生や外国籍の学生の獲得につながったことから、自己評価をSとした。 ③ 理学療法学科(小項目No.16) 計画に基づき、教育を十分に実施し、国家試験合格率100%、本学大学院への進学者6名の確保、就職率100%の成果を得た。さらに1年次臨床見学実習を全国的にも稀な入学直後の時期に導入し、教育効果の高い早期体験学習として成功させたことから、自己評価をSとした。 ④ 研究発表及び学内研究費助成制度への応募の促進(小項目No.21) 計画に基づき、大学院生への意識付け等を十分に実施し、研究発表や学内研究費助成制度への応募を促した。それらの結果から、学会発表件数が目標を大きく上回る等、研究活動の活性化がみられたことから、自己評価をSとした。 ⑤ 研究成果の地域社会への還元(小項目No.22) 計画に基づき、大学院生への意識付け等を十分に実施し、地域社会への研究成果の還元件数が目標を大きく超えたことから、自己評価をSとした。 ⑥ ヘルスプロモーション戦略研究センターの研究・調査との連携の推進(小項目No.23) 計画に基づき、研究センターの研究・調査と連携し、センター所掌の「若手・大学院生奨励研究」に関して、応募・採択件数や青森県保健医療福祉研究発表会での発表件数が多かったことから、自己評価をSとした。 ⑦ 研究発表、学術雑誌への投稿並びに学内研究費助成制度への応募の促進(小項目No.25) 計画に基づき、研究発表、学術雑誌への投稿並びに学内研究費助成制度への応募を推し進めることができた。学会発表件数、学術雑誌への投稿件数については、多くの学年で数値目標を上回った。以上のことから、自己評価をSとした。 ⑧ FD研修会の実施(小項目No.28) 計画に基づき、部局長等の自律的な企画により、多くの必要なFDが実施できた。FDの機会を多く準備でき、高い評価を得、今後の大学運営に生かすことができた。このため、計画以上の成果と判断し、自己評価はSとした。
2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置(研究)	S 0 A 5 B 0 計 5	
3 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置(地域貢献)	S 0 A 12 B 0 計 12	
4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	S 0 A 10 B 0 計 10	
5 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	S 0 A 6 B 0 計 6	
6 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	S 1 A 5 B 0 計 6	①幅広い広報媒体の活用(小項目No.81) InstagramやYouTubeへの情報発信体制を整備し、安全かつ効果的な運用を実現した。学生の積極的な参画を得ながら、多面的な情報公開を行い、フォロワー数やリーチ数の増加といった成果も明確であったことから、自己評価をSとした。
7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	S 0 A 6 B 0 計 6	